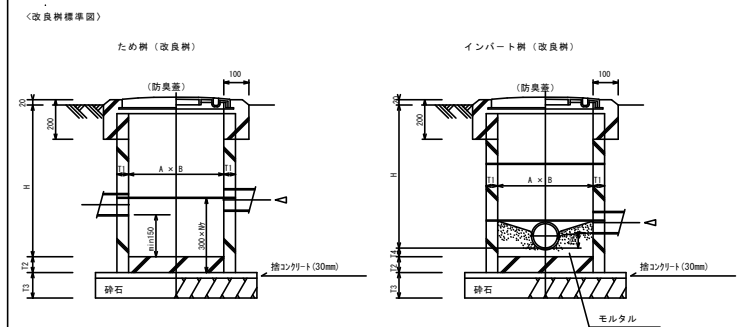
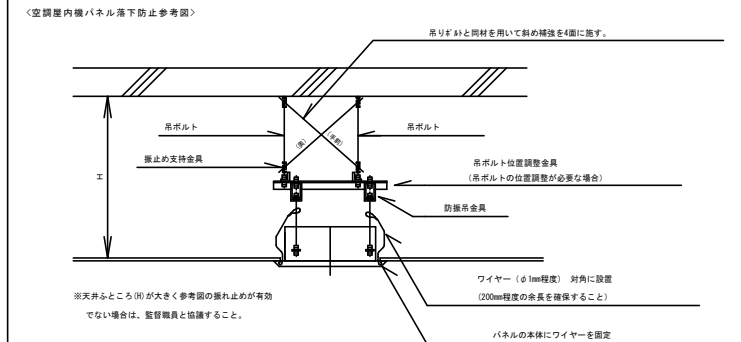


機械設備工事特記仕様書

浄化槽設備	1 処理方式 2 処理能力 3 本体構造 4 放流水質 5 配管材料 6 土留め工法 7 報告	合併処理 ・ 建築基準法施行令第35条の認定品による ・ 建設省告示第1292号による。第() () 方式) 処理対象人員 人 処理水量 m ³ /日 ・ コンクリート製 ・ FRP製 B00 ppm 以下 ・ 一般配管用ステンレス鋼管 () ・ 耐熱性硬質塩化ビニル管 () ・ 配管用炭素鋼管(5) () ・ ・ 3ヶ月間(月2回)点検を行い、完了後に報告書(点検記録、水質検査の結果)を提出すること。 なお水質検査は、生物化学的酸素要求量 (BOD)、水素イオン濃度 (pH) 浮遊物質 (SS)、大腸菌群数 (最確数法) について実施する。
さく井設備	1 種別 2 掘削方式 3 シーリング 4 ストレーナー 5 電気検査 6 水質検査	・ 浅井戸 ・ 深井戸 ・ ロータリー式 ・ パカッション式 ・ ダウンザホールタイプ ※ 配管用炭素鋼管 (黒) ・ ※ ステンレス製巻線型 ・ ※ 連続測定 ・ スポット測定 ※ 行う (原水項目) ・ 行わない
撤去工事	1 冷蔵 (フロン系) の回収及び破壊 2 吸収冷凍機、吸収冷凍水罐等の臭化リチウム水溶液等	※ 無 ・ ⑤ (1) 冷蔵の回収にあたっては、「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律 (フロン回収破壊法)」に従って行うこと。 また、法に規定するものの他、次の書類を監督職員に提出すること。 (ア) 第一種フロン類回収業者登録通知書の写し (イ) フロン類の最終処理に関する証明書 (2) 行け管理履歴の様式は、監督員の指示による。 (3) 家庭用エアコン等で「特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)」の対象となっているものは、同法に従ってリサイクル (フロン類の回収を含む。) を行ない、監督員に次の書類を提出する。 (ア) 特定家庭用機器廃棄物管理票 (家電リサイクル券) の写し ※ 無 ・ 有 関係法令に従い、専門業者により適正に処理すること。



記 号	A × B	H	T1	T2	T3
RK-1	300 × 300	400	60	60	100
RK-2	360 × 360	400	60	80	100
RK-3	450 × 450	410 ~ 600	60	80	100
RK-4	600 × 600	610 ~ 1,200	60	100	100



別表

名	称
配管類	
・給水管	
・排水管	
・冷温水管	
・水銀管	
・	
弁類	
・仕切弁	
・バタフライ弁	
・逆止弁	
・緊急遮断弁	
・	
ポンプ類	
・給水用ポンプ	
・空調用ポンプ	
・湧水ポンプ	
・	
・	
※タンク類	
・受水槽	
・高圧水槽	
・貯湯槽	
・貯水水槽	
・	
※空気調和設備工事用機材	
・パッケージエアコン	
・空気調和機 (AHU)	
・冷却塔	
・ヘッダー	
・	
※自動制御機器類	
・中央監視盤	
・リモート盤	
・	
・	
給排水衛生設備工事用機材	
①衛生器具	
・水栓	
・組立てマンホール	
・	
・	
※浄化槽	
・F R P 浄化槽	
・動力型、制御型	
・ブロー	
・	
※さく井	
・スクリーン	
・	
・	
・	
その他	
・スリーブ (つば付鋼管)	
・	
・	
・	

表のうち選択する事項は、・印の付いたものを適用する。
 ○印のない場合は、※印を適用する。

その他

1) ステンレス材を酸洗いした場合、その廃液は産業廃棄物として適切に処理を行なうこと。